

## 職員採用説明会 質問集【共通編】

質問	回答
<b>Q1</b> 職員から見た長岡京市の魅力を教えてください。	<p>「いろんな意味でちょうどよい」 人口規模がそれほど大きくなく、市域も広すぎないコンパクトな長岡京市は、市全体を見渡して仕事ができますし、市民の方との距離が遠すぎず、近すぎず、ちょうどよい規模感です。まちなかで自分の“仕事”を実感できる場面もあります。</p> <p>交通アクセスの良さなどの都会的な利便性もありながら、西山に代表される緑豊かな風景や、古代からの歴史を感じることができる長岡京市は、職員にとっても魅力的ですし、働きやすい環境です。</p>
<b>Q2</b> どうして長岡京市で働くと思ったのですか？	<p>職員に聞いてみると、「長岡京市のまちや取り組みに魅力を感じた」という理由のほか、 「筆記試験がSPI（総合能力試験）だから受験しやすかった」 「市役所の『働きやすさ』が魅力的だった」 「通勤しやすいから」 といった理由も非常に多いです。</p> <p>これまで長岡京市にまったく縁がなかった方も、これから“長岡京市”を知っていただき、最終的に選んでいただけたらと思います。</p>
<b>Q3</b> 具体的にどんな仕事がありますか。入所1年目でどんな仕事に携われるのでしょうか。	<p>市役所の業務は多岐に渡ります。事務職であれば、企画、総務、環境、福祉、建設、教育、議会、監査など、さまざまな部署に配属される可能性があります。技術職であれば、それぞれの専門分野に関連した部署に配属されることとなります。</p> <p>ホームページに掲載している市民の方への案内や事業計画などを見てもらえれば、それぞれの部署の業務を少しはイメージしていただけるかなと思います。</p> <p>入所1年目の仕事内容は、配属される部署の業務によるところが大きく、事務や窓口業務のほか、ケースワークが主となることもありますし、計画の策定や施設・道路などの維持管理、整備などに携わることもあります。</p>

	質問	回答
Q4	長岡京市の課題は何ですか。どのような取り組みに注力していますか。	<p>今後、日本では、高齢者世代が増え、働く世代や子どもの数が少なくなっていくとされています。</p> <p>長岡京市の人口はおよそ8万人。現在は微増していますが、何もしなければ人口は減少していくでしょう。今後もこの規模を維持し、かつ、市民のみなさんが豊かに暮らしていけるまちを残していくことが目標です。</p> <p>この大きな課題に対応していくため、3つの戦略を掲げています。</p> <p>1つ目は「定住の促進」 人口8万人規模を維持していくために、子育て支援の充実や安心・安全の確保により、“選ばれる街”としての魅力を高め、子育て世代を中心に長岡京市に暮らす人を増やしていこうとするものです。</p> <p>2つ目は「交流の拡大」 市内の経済活動を活発化させるため、観光で訪れる人や本市で働く人を増やすことに取り組もうとするものです。</p> <p>3つ目は「まちの新陳代謝の促進」 長岡京市は高度経済成長期に急速に発展を遂げました。一気に整備された学校や公民館等の公共施設をはじめ、道路、公園、上下水道等の都市インフラが更新の時期を迎えています。この市を子や孫の世代に引き継いでいくため、住宅や事業所なども含め、まち全体の「新陳代謝」を促し、活性化を進めていこうとするものです。</p> <p>近年取り組んでいる施策、例えば、子育て支援や健康づくり、見守り機能付きの防犯カメラの設置、産業振興、新庁舎の建設などは、長岡京市の未来づくりに向けた課題解決でもあるのです。</p>
Q5	長岡京市在住ではありませんが、働くことはできますか？	<p>もちろん可能です。職員の半数以上は市外在住です。</p> <p>市内には阪急電鉄とJRの駅があり、市役所はそれぞれの駅から徒歩圏内にありますので、通勤のしやすさも大きな魅力です。</p>
Q6	どんな研修がありますか？	<p>階層別研修（新規採用職員、中堅職員、監督職、管理職など）や派遣研修（能力開発や実務向上等を目的とするもの）等を実施しています。</p> <p>また、職員が勤務時間外に自己啓発のために受講した自己研修の費用の一部を助成する制度もあります。</p>
Q7	結婚・出産後も働きたいと考えています。女性職員の活躍について教えてください。	<p>産前産後休暇や子の看護休暇、育児休業など、子育てを支援する休暇・休業制度があり、多くの職員がこれらの制度を利用しながら、仕事と子育てを両立しています。（女性職員の育児休業取得率（過去3年間）：100%）</p> <p>また、結婚や出産を理由とした退職はほとんどない状況です。</p> <p>長岡京市では、特定事業主行動計画「長岡京市仕事と生活いきいき推進プラン」を掲げ、ライフステージや性別に関わらず、職員全員が働きやすい職場環境づくり、また個人の能力を発揮しながらキャリア形成にも前向きに働ける職場づくりを進めているところです。</p> <p>令和2年4月時点では管理職（課長級以上）に占める女性職員の割合は約27%ですが、監督職（課長補佐級・係長級）に占める女性職員の割合は50%を超えており、今後、管理職に占める女性職員の割合は増加していく見通しです。</p>

	質問	回答
Q8	現職員の生の声を聞きたいです。	<p>今後も引き続き、職員採用説明会などを開催する予定です。 また、他団体が主催する就職説明会にもブース出展などで参加することがあります。 いずれの場合も、市ホームページに開催情報を掲載しますので、ぜひご参加ください！</p> <p>また、市ホームページ内にも、若手職員のぶっちゃけトーク「若手職員に市役所のリアル 聞いてみた」など、職員採用特設コンテンツを掲載しています。 ぜひチェックしてみてくださいね。</p>
Q9	どのような人材を求めていますか？	<p>市長インタビュー「求める人材像」からの抜粋です。 「…過去が参考にならない時代ですから、まずは、自分の頭で本質をキッチリと考えられる人。そして考え抜く忍耐力。さらに考えたことを伝える力が必要になります。考えるためには、基礎になる情報や事象、ニーズなどを把握することが大切です。また、市政運営には「鳥の目」と「虫の目」の2つの視点が必要だと思っています。俯瞰して相対化しつつ、現場をしっかりと見る、両方のバランスが必要です。長岡京市では当たり前のことが、他の街では全く違うこともありますから…」 — 中小路健吾市長</p> <p>全文は市ホームページ内の職員採用特設コンテンツ「市長インタビュー「求める人材像」」に掲載しています。 ぜひご覧ください。</p>
<p>質問は随時受付しています。 職員採用について「こんなことが知りたい」というご要望があれば、 対話推進部職員課人事・給与担当(syokuin@city.nagaokakyo.lg.jp)までメールにてお寄せください。 内容により、上記の質問集に追加していきます。</p>		